

次世代太陽電池を無償で

CO₂削減推進協 設置事業者募る

工事・メンテナンス費も

脱炭素社会に向けた事業を推進する沖縄CO₂削減推進協議会（瑞慶覧会長）は、ガラス基板上に形成した次世代太陽電池ペロブスカイト50部を設置する事業者を募集している。工事費やメンテナンス費用、製造物責任（PL）保険、償却資産税など全ての費用を、サービス事業者のモリベニ（那覇市）が負担。10年後には本体の所有権を無償譲渡する。

発電量の全てを自家消費することが条件。電力需要が大きく増減すると発電した電力を捨てることになるため、介護老人保健施設や病院、ホテル、スーパーなど、年中無休で稼働する事

業者を優先する。

協議会が、設置確認や電気料金の試算、計測、請求代行などを担う。請求の際にお客さま還元として、既存の電気料と比べて削減できた電気料から、業務用電力を使用している場合は5%、高圧電力Aの場合は10%をあらかじめ割引する。

ペロブスカイトは薄くて軽く、これまで設置できなかった耐荷重の低い鉄板屋根などにも設置できる。屋内や雨天・曇天でも発電可能などの利点がある。

瑞慶覧会長は「県内のCO₂削減の促進に取り組んでいきたい」と話した。問い合わせは協議会、電話098（988）6301。（政経部・川野百合子）